

—CMAT—

第二版

ケアマネジメント スキルアップ評価 シート

活用マニュアル



東京都介護支援専門員研究協議会
作成：研修向上委員会

【目次】

| | |
|--------------------------|------|
| ◆ 目的 | ・ 3 |
| ◆ シートの考え方と視点 | ・ 4 |
| ◆ 評価の考え方と視点 | ・ 5 |
| ◆ 活用上の注意 | ・ 6 |
| ◆ 本シートで何がわかるか | ・ 7 |
| ◆ 各シートの構成 | ・ 8 |
| ◆ 「評価者」について | ・ 10 |
| ◆ 「評価期間」について | ・ 11 |
| ◆ 「評価日」の入力と「評価時点」の選択について | ・ 12 |
| ◆ 「評価」と「評価の視点」 | ・ 13 |
| ◆ 各力の「配点」 | ・ 14 |
| ◆ 「評価の手順」について | ・ 15 |
| ◆ 「評価開始時点」の操作手順 | ・ 16 |
| ◆ 「受講直後」・「3ヶ月後」の操作手順 | ・ 17 |
| ◆ 「評価期間終了時点」の操作手順 | ・ 18 |
| ◆ 印刷 | ・ 19 |
| ◆ Q&A | ・ 20 |

目的

『ケアマネジメントスキルアップ評価シート
(以下「本シート」とする)』は、自身の課題を
可視化し、自己研鑽することを目的としています。

評価を可視化することで、自らのさらなる成長
を目指します。

シートの考え方と視点

プロフェッショナリズム宣言をもっている
CMATの一員として、各自の課題を具体化
し、知識や技術を学び、達成状況を確認しま
しょう。

介護支援専門員の知識や技術、価値・倫理
に偏りがないバランス感覚を養いましょう。
本シートは、他者との比較ではなく、自らの
基準で評価しましょう。

評価の考え方と視点

- ◆本シートは、「評価開始時点」・「受講直後」・「3か月後」・「評価期間終了時点」で評価するように作られています。評価期間を定めてから使用しましょう。
- ◆各自の研修計画に基づいて「評価期間」を設定し、「評価開始時」と「評価期間終了時点」を比較することができます。
- ◆評価期間中の評価は、研修受講5回まで入力が可能です。
- ◆対象となる研修は当会の研修のみでなく、目的に資する他機関が開催する研修も対象としています。
- ◆目的に資する研修については、P19のQ&Aを参照し、開催情報は、各自または仲間同士で共有し、目的と内容を確認して受講してください。

活用上の注意

本シートは、CMATが独自で作成したものであり、すべての項目を評価することで効果があるため、**転載・転用・いかなる変更（罫線の追加・削除、項目数の増減、項目の表現の変更等）を固く禁じます。**

（シートの入手方法）

当会会員は、会員ページから評価シートをダウンロードします（評価を自動で可視化できます）。

会員以外は、当会ホームページからPDF版をダウンロードします（評価を手動で可視化できます）。

（本マニュアルの読替え）

本マニュアルは、会員仕様を想定して作成していますが、本文中の「入力」を「記入」など、読替えることで活用いただけます。尚、P12、P16、P17、P18にある「評価時点」の表記はPDF版には記載していないので読み飛ばしてください。

本シートで何がわかるか

【あなたのスキルを可視化できます】

～CMATケアマネジメント スキルアップ評価シート～

評価者 華阿 真音

| 評価期間開始時点 | 第1回目 | 第2回目 | 第3回目 | 第4回目 | 第5回目 | 評価期間終了時点 | |
|--------------|------|------|------|------|------|----------|----------|
| 評価軸 | 受講直後 | | | | | 3か月後 | 評価期間終了時点 |
| 評価日 | 年 月 | 年 月 | 年 月 | 年 月 | 年 月 | 年 月 | |
| プロフェッショナルカ | 5.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| プランニングカ | 5.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| チーム形成力 | 5.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 地域発信力 | 3.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| アドミニストレーションカ | 3.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 指導・育成力 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

評価

- ◎ 実践している/教えられる
- 理解している(できた)
- △ 知らない・わからない・出来ていない

① ケアマネジャーに求められる力を自己評価

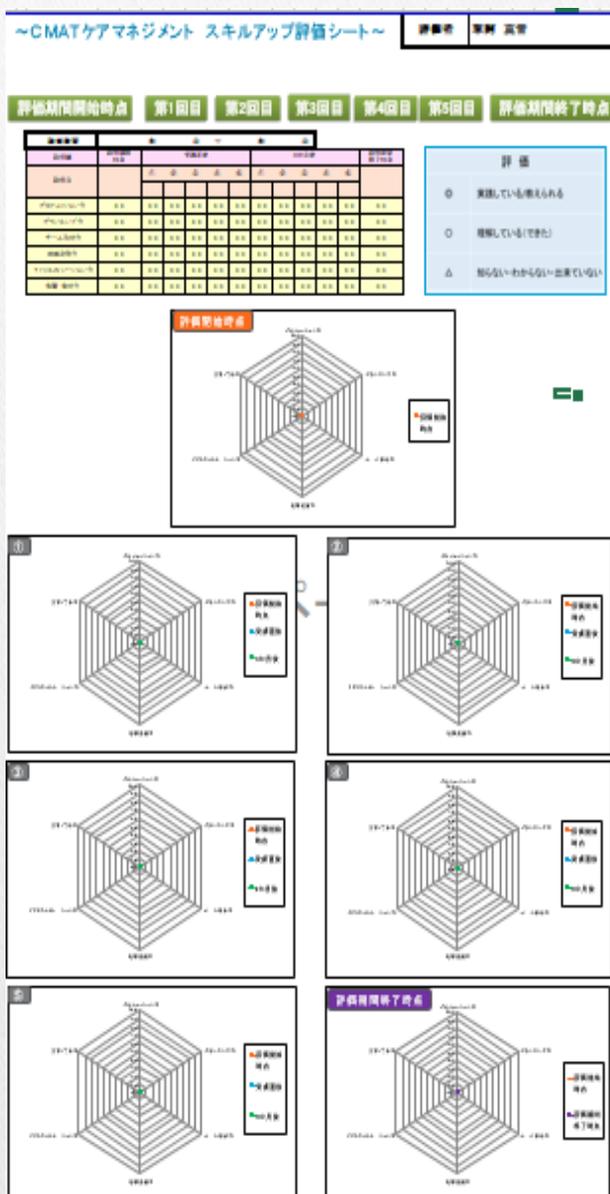
② 評価を点数化

③ 自身のスキルをレーダーチャートで可視化

本シートは、ケアマネジャーに求められる力を自己評価し①、評価を点数化して②、自身のスキルをレーダーチャート③で確認できます。このことで、何に取り組むか課題が見えてきます。

各シートへの構成

【表紙】



主に入力や操作が必要なゾーン

- ・ 評価者 (P10参照)
- ・ 評価期間 (P11参照)
- ・ 評価日と評価時点 (P12参照)

自動的に表示されるゾーン

スキルアップ度をレーダーチャートで確認できます。

各シートの構成

【ケアマネジャーに求められる力】 (6つの力)

①-1に、下記の6つの力別にシートが並んでいます。

- ◆ プロフェッション力
- ◆ プランニング力
- ◆ チーム形成力
- ◆ 地域発信力
- ◆ アドミニストレーション力
- ◆ 指導・育成力

①-1で選択したシートかを

①-2で確認できます。

②は、評価する項目です。

③は、②の項目について評価する際の視点を列記しています。

④は、②の項目を評価する欄です。

【評価開始時点】の列、【受講直後】の列、【3ヶ月後】の列、【評価期間終了時点】の列に分かれています。

| 評価期間開始時点 | スコア | No. | 項目 | 評価開始時点 | 受講直後 | 3ヶ月後 | 評価期間終了時点 |
|----------|-----|-----|---|--------|------|------|----------|
| | | | 1 ひとまきである(対人援助の基本姿勢) | | | | |
| | | | 2 ①先入観を持たず、無条件で相手を受け入れる態度を持っていますか ②相手の立場に立って見直しをもって対応をしますか ③自分が自身に対する自己理解の努力を常に怠りませんか(自己認知) | | | | |
| | | | 3 ①利用者のことを第一に考える(利用者主体・自己決定の支援) ②利用者の望むゴールをともに考えますか ③利用者が他者に影響されること(自分自身の判断)でできるように自律支援を行っていますか ④自己決定のための十分な情報提供を行っていますか ⑤相手には状況を判断し決めることはいくらですか | | | | |
| | | | 4 ①利用者の言葉をよく聞く(傾聴・受容・共感) ②偏見や思い込み(利用者の話を聞)いていませんか ③どんな場合にも自分の中の感情を持って話を聞いていますか ④利用者の言語、非言語の表情を読み取って理解していますか ⑤コミュニケーションが技術や言語力を軸に働いていますか | | | | |
| | | | 5 ①秘密保持 ②利用者やその家族が持つ情報について秘密を守っていますか ③思わぬところで情報が漏洩してはいませんか ④他人の情報については必ず了解を得てから話していますか ⑤秘密保持の例外となる場合を知っていますか | | | | |
| | | | 6 ①表向き・裏向きを併用する(代弁機能・権利擁護) ②結論を急がせず、じっくり時間をかけて話を聞かれていますか ③判断能力が不十分な状態に本人の気持ちを読み取っていますか ④社会的な孤立や悩み、困りごとが原因にある本人や家族への理解をしていますか ⑤表向き・裏向きに対して実態をあらためてはいませんか | | | | |
| | | | 7 ①車に説明する(説明責任) ②介護保険制度やケアマネの役割についてわかりやすい言葉とスピードで説明していますか ③相手の理解度に合わせて説明するように工夫していますか ④必要情報を説明する際に専門用語を使いませんか ⑤必要に応じて「フラットエリア」を使っていますか | | | | |
| | | | 8 ①本人に合った働きと役割を一緒に考えられていますか | | | | |

「評価者」について

～CMATケアマネジメント スキルアップ評価シート～

| | |
|-----|-------|
| 評価者 | 華阿 真音 |
|-----|-------|

評価期間開始時点 第1回目 第2回目 第3回目 第4回目 第5回目 評価期間終了時点

| 評価期間 | 年 | 月 | ～ | 年 | 月 | |
|------|------------|------|---|---|------|--------------|
| 評価軸 | 評価開始 時点 | 受講直後 | | | 3か月後 | 評価期間 終了時点 |
| 評価日 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |

評価

- スキルアップ評価シートは自己評価シートであるため、評価者は原則「受講者」としています。
- 他者評価の場合は、その評価者の氏名を記入します。スキルアップ評価シートは「他者」が「受講者」を評価する“他者評価”も想定しており、自己評価と他者評価を突合させて、その差異を埋めるための話し合いに活用することも出来ます。

※ 「評価者」の記入欄は、表紙にあります。

「評価期間」について

～CMATケアマネジメント スキルアップ評価シート～

| 評価期間開始時点 | | 第1回目 | 第2回目 | 第3回目 | 第4回目 |
|----------|------------|-----------|-----------|------|----------|
| 評価期間 | 年 月 ~ 年 月 | | | | |
| 評価軸 | 評価開始 時点 | 文書置換 | 3ヶ月後 | | 評価 終了 |
| | | ① ② ③ ④ ⑤ | ① ② ③ ④ ⑤ | | |

手入力する

- 評価期間は、一定の期間を設けて成長を確認していく事を想定して設けています。
- 例えば、年度末に次年度の研修計画を立案する際、
●年4月～（翌年）●年3月と設定したり、職場の評価期間に合わせて設定するなど、事業所等のルールに合わせた設定ができます。
- 評価期間を設定する事で、評価開始時から評価終了時でどの程度成長したか確認ができることを想定しています。

※「評価期間」の記入欄は、評価シートの表紙にあります。

「評価日」の入力と 「評価時点」の選択について

| | | | | | | | | |
|----------|--|------|------|------|------|------|----------|--|
| 評価期間開始時点 | | 第1回目 | 第2回目 | 第3回目 | 第4回目 | 第5回目 | 評価期間終了時点 | |
|----------|--|------|------|------|------|------|----------|--|

| 評価軸 | 評価時点 | 受講直後 | | | | | 3か月後 | | | | | 評価期間終了時点 |
|------------|------|------|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|----------|
| | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | |
| 評価日 | | | | | | | | | | | | |
| プロフェッショナルカ | 5.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| プランニングカ | 5.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| チーム形成カ | 5.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 地域発信力 | 3.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |

| 評価 | |
|----|--------------|
| ◎ | 実践している/教えられる |

「評価日」には、評価した日付を手入力する

ここは「評価時点」です。評価日がどの評価時点に該当するかをクリック（選択）します。

評価時点をクリックするだけで評価する欄は現れません。評価時点をクリックした後に評価したい力のシートを選択すると入力欄が白くなります。白くなった入力欄の「▼」を押すと評価が可能となります。（詳細はP16～P18参照）

※各評価時点をクリックすると画面が動きます。シートを選択している動作なので画面が静止してから操作してください。

(注)
会員外の方が使用するPDF版には「評価時点」を表記していませんので、読み飛ばして操作してください。

「評価」と「評価の視点」

【各6つのカシート】

| 評価期間開始時点 | スコア | 評価項目 | 評価視点 | 評価結果 | 評価終了時点 |
|----------|-----|--|------|------|--------|
| | 1 | ① ひたむきである(対人援助の基本姿勢) | ④ | ○ | |
| | | ② 先入観を持たず、無条件で相手を受け入れる態度を持っていますか | | ○ | |
| | | ③ 相手の立場に立って見直しをもって状況を理解していますか | ④ | ○ | |
| | | ④ 自分自身に対する自己理解の努力を常にしていますか(自己覚知) | | ○ | |
| | 2 | ① 利用者のことを第一に考える(利用者主体・自己決定の支援) | | ○ | |
| | | ② 利用者の望むゴールをともに考えていますか | | ○ | |
| | | ③ 利用者が他者に強要されることなく自分自身の判断ができるような自律支援を行っていますか | | ○ | |
| | | ④ 自己決定のための十分な情報提供を行っていますか | | ○ | |
| | | ⑤ 勝手に状況を判断し決めつけることはしていませんか | | ○ | |
| | 3 | ① 利用者の言葉をよく聞く(傾聴・受容・共感) | | ○ | |
| | | ② 偏見や思い込みなく利用者の話を聞いていますか | | ○ | |
| | | ③ どんな場合にも自分の中の感情を保って話を聞いていますか | | ○ | |
| | | ④ 利用者の言語、非言語の表現を読み取って面接していますか | | ○ | |
| | | ⑤ コミュニケーション技術や言語力を常に磨いていますか | | ○ | |
| | 4 | ① 他言しない(秘密保持) | | ○ | |
| | | ② 利用者やその家族が持つ情報について秘密を守っていますか | | ○ | |
| | | ③ 思わぬところでうっかり他言してはいませんか | | ○ | |
| | | ④ 個人の情報については必ず了解を得てから話していますか | | ○ | |
| | | ⑤ 秘密保持の例外となる場合を知っていますか | | ○ | |
| | 5 | ① 表せない気持ちを代弁する(代弁機能・権利擁護) | | △ | |
| | | ② 結論を急がせず、じっくり時間をかけて話を聞いていますか | | △ | |
| | | ③ 判断能力が不十分な状態にある本人の気持ちを汲み取っていますか | | △ | |
| | | ④ 社会的な孤立や追い詰められた状況にある本人や家族への理解をしていますか | | △ | |
| | | ⑤ 表せない気持ちに対して支援をあきらめていませんか | | △ | |

【評価】

評価は、各「項目①」について②で評価します。

評価は、③に基づいて「◎」「○」「△」を選択します。

評価の際、「視点④」を参考にする判断しやすくなります。

この時、「視点」の一つ一つを評価するのではなく、評価視点を参考にして総合的に判断します。

6つのシートを評価するとレーダーチャート⑤で力を可視化できます。

【表紙】

評価期間開始時点 第1回目 第2回目 第3回目 第4回目 第5回目 評価期間終了時点

評価期間 年 月 ~ 年 月

6つのシートを評価するとレーダーチャートが現れます

| 評価項目 | 第1回目 | 第2回目 | 第3回目 | 第4回目 | 第5回目 |
|--------------|------|------|------|------|------|
| アドミニストレーション力 | 8.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 指導・育成力 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

評価

◎ 実践している/教えられる
○ 理解している(できた)
△ 知らない/わからない/出来ていない

⑤

各力の「配点」

| 評 価 | |
|-----|-------------------|
| ◎ | 実践している/教えられる |
| ○ | 理解している(できた) |
| △ | 知らない・わからない・出来ていない |

- プロフェッショナル力 **【◎=1】**
 - プランニング力 **【○=0.5】**
 - 指導・育成力 **【△=0】**
-
- チーム形成力 **【◎=2】**
 - 地域発信力 **【○=1】**
 - アドミニストレーション力 **【△=0】**

評価の手順について

手順1 【評価期間開始時に行うこと】（操作手順はP16参照）

1. 評価期間を手入力する
2. 評価期間が始まる時期に「評価期間開始時点」6つの力を評価する
3. 評価開始時点のレーダーチャートで評価開始時点の「私の状態」を確認する

手順2 【研修受講後、3ヶ月後に行うこと】（操作手順はP17参照）

1. 「評価期間開始時点」の評価を踏まえて、研修を受講する。
2. 研修を受講した後、評価期間内で受講した研修が「1回目～5回目」のいずれかを選択して「受講直後」の欄で評価を行う
3. 「受講直後」の評価から3か月程度経過した頃に「受講後3ヶ月」の欄で評価を行う
4. 各回のレーダーチャートで評価開始時点と比較して成長度合いを確認する

手順3 【評価期間終了時に行うこと】（操作手順はP18参照）

1. 評価期間終了時点で「評価期間終了時点」を押して評価を行う
2. 評価終了時点のレーダーチャートで評価開始時点と比較して評価期間内でのスキルアップ度を確認する

※学習を重ねることで自己評価の基準が厳格になり、評価の数値が受講前より下がることもあります。それは、自分の成長への自己覚知と捉えることができます。上がり下がりで一喜一憂するのではなく、上がった要因、下がった要因を分析して実践と学習の積重ねが重要です。

手順1

「評価開始時点」の操作手順

【表紙】

【各6つのカシート】

① 評価期間開始時点 第1回目 第2回目 第3回目 第4回目 第5回目 評価期間終了時点

| 評価項目 | 評価開始時点 | 変遷直後 | 3か月後 | 評価期間終了時点 |
|--------------|--------|------|------|----------|
| プロフェッショナル力 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| プランニング力 | 5.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| チーム形成力 | 5.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 地域発信力 | 3.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| アドミニストレーション力 | 8.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 指導・育成力 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

②

| 評価 | |
|----|-------------------|
| ◎ | 実践している/教えられる |
| ○ | 理解している(できた) |
| △ | 知らない/わからない/出来ていない |

⑥

③

| 評価期間開始時点 | スコア | No. | 項目 | 評価開始時点 | 変遷直後 | 3か月後 | 評価期間終了時点 |
|----------|-----|-----|---|--------|------|------|----------|
| | | 1 | ひたむきである(対人援助の基本姿勢) | | | | |
| 視点 | | | ①誠実な態度をもって利用者に対応していますか | ○ | | | |
| | | | ②先入観を持たず、無条件で相手を受け入れる態度を持っていますか | ○ | | | |
| | | | ③相手の立場に立って見通しをもって状況を理解していますか | ○ | | | |
| | | | ④自分自身に対する自己理解の努力を行っていますか(自己覚知) | ○ | | | |
| | | 2 | 利用者のことを第一に考える(利用者主体・自己決定の支援) | | | | |
| 視点 | | | ①利用者の望むゴールをともに考えていますか | ○ | | | |
| | | | ②利用者が他者に強要されることなく自分自身の判断ができるような自律支援を行っていますか | ○ | | | |
| | | | ③自己決定のための十分な情報提供を行っていますか | ○ | | | |
| | | | ④勝手に状況を判断し決めつけることはしていませんか | ○ | | | |
| | | 3 | 利用者の言葉をよく聞く(傾聴・受容・共感) | | | | |
| 視点 | | | ①偏見や思い込みなく利用者の話を聞いていますか | ○ | | | |
| | | | ②どんな場合にも自分の中の感情を保って話を聞いていますか | ○ | | | |
| | | | ③利用者の言語、非言語の表現を読み取って面接していますか | ○ | | | |
| | | | ④コミュニケーション技術や言語力を常に磨いていますか | ○ | | | |
| | | 4 | 他言しない(秘密保持) | | | | |
| 視点 | | | ①利用者やその家族が持つ情報について秘密を守っていますか | ○ | | | |
| | | | ②思わぬところでうっかり他言してはいませんか | ○ | | | |
| | | | ③個人の情報については必ず了解を得てから話していますか | ○ | | | |
| | | | ④秘密保持の例外となる場合を知っていますか | ○ | | | |
| | | 5 | 表せない気持ちを代弁する(代弁機能・権利擁護) | | | | |
| 視点 | | | ①結論を急がせず、じっくり時間をかけて話を聞いていますか | △ | | | |
| | | | ②判断能力が不十分な状態にある本人の気持ちを汲み取っていますか | △ | | | |
| | | | ③社会的な孤立や違いの語られた状況にある本人や家族への理解をしていますか | △ | | | |

④

⑤

⑥

① 「評価開始時点」をクリックする

② 「評価開始時点」の欄に評価日を手入力する

③ 「6つの力」シートを選択する

④ 「評価開始時点」の欄が白くなっている事を確認する

⑤ 各項目を評価する。評価は、プルダウン「▼」を押して評価記号を選択する

⑥ 表紙に戻って「評価開始時点」のレーダーチャートを確認する

手順2

「受講直後」・「3ヶ月後」 の操作手順

(下記は、評価期間内で1回目の受講を例に説明)

①

【表紙】

① 「第1回」をクリックする

② 「受講直後」または「3ヶ月後」の欄の「①」に評価日を手入力する

③ 「6つの力」シートを選択する

④ 「受講直後」および「3ヶ月後」の欄が白くなっている事を確認する

⑤ 各項目を評価する。評価は、プルダウン「▼」を押して評価記号を選択する

⑥ 表紙に戻って「①」のレーダーチャートを確認する

【各6つのカシート】

| 第1回目 | スコア | No. | 項目 | 評価期間開始時点 | 受講直後 | 3か月後 | 評価期間終了時点 |
|------|-----|-----|---|----------|------|------|----------|
| | | 1 | ひとまできである(対人援助の基本姿勢) ① 誠実な態度をもって利用者に対応していますか ② 先入観を持たず、無条件で相手を受け入れる態度を持っていますか ③ 相手の立場に立って見直しをもって状況を理解していますか ④ 自分自身に対する自己理解の努力を常にしていますか(自己寛知) | ○ | ○ | ◎ | |
| | | 2 | 利用者のことを第一に考える(利用者主体・自己決定の支援) ① 利用者の望むゴールをともに考えていますか ② 利用者が他者に強要されることなく自分自身の判断ができるような自律支援を行っていますか ③ 自己決定のための十分な情報提供を行っていますか ④ 勝手に状況を判断し決めつけることはしていませんか | ○ | ○ | ◎ | |
| | | 3 | 利用者の言葉をよく聞く(傾聴・受容・共感) ① 偏見や思い込みなく利用者の話を聞いていますか ② どんな場合にも自分の中の感情を保って話を聞いていますか ③ 利用者の言語、非言語の表現を読み取って面接していますか ④ コミュニケーション技術や言語力を常に磨いていますか | ○ | ○ | ◎ | |
| | | 4 | 他言しない(秘密保持) ① 利用者やその家族が持つ情報について秘密を守っていますか ② 思わぬところでうっかり他言してはいないでしょうか ③ 個人の情報については必ず了解を得てから話していますか ④ 秘密保持の例外となる場合を知っていますか | ○ | ○ | ◎ | |
| | | 5 | 表せない気持ちを代弁する(代弁機能・権利擁護) ① 結論を急がせず、じっくり時間をかけて話(グラブ)りますか ② 判断能力が不十分な状態にある本人の気持ちを代弁取っていますか ③ 社会的な孤立や違い語らせた状況にある本人や家族への理解をしていますか ④ 表せない気持ちを代弁して表現を支援することができますか | △ | ○ | ○ | |

③

④

⑤

手順3

「評価期間終了時点」の操作手順

①

評価期間開始時点 第1回目 第2回目 第3回目 第4回目 第5回目 評価期間終了時点

| 評価期間 | 評価開始 期日 | 年 | 月 | ～ | 年 | 月 | 評価 |
|--------------|------------|----|----|----|----|----|----|
| 評価日 | | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| プロフェッショナル力 | 50 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | ◎ |
| プランニング力 | 50 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | ◎ |
| チーム形成力 | 50 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | ◎ |
| 地域発信力 | 30 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | ◎ |
| アドミニストレーション力 | 80 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | ◎ |
| 指導・育成力 | 05 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | ◎ |

評価

- ◎ 実践している/教えられる
- 理解している(できた)
- △ 知らない/わからない/出来ていない

評価期間終了時点

②

【表紙】

① 「評価期間終了時点」をクリックする

② 「評価期間終了時点」の欄に評価日を手入力する

③ 「6つの力」シートを選択する

④ 「評価期間終了時点」の欄が白くなっている事を確認する

⑤ 各項目を評価する。評価は、プルダウン「▼」を押して評価記号を選択する

⑥ 表紙に戻って「評価期間終了時点」のレーダーチャートを確認する

【各6つのカシート】

| 評価期間終了時点 | スコア | No. | 項目 | 評価開始 時点 | 受審後 | 3か月後 | 評価期間 終了時点 |
|----------|-----|-----|---|------------|-----|------|--------------|
| 視点 | | 1 | ひたむきである(対人援助の基本姿勢) ① 誠実な態度をもって利用者と対応していますか ② 先入観を持たず、無条件で相手を受け入れる態度を持っていますか ③ 相手の立場に立って見通しをもって状況を理解していますか ④ 自分自身に対する自己理解の努力を常にしていますか(自己覚知) | ○ | | | ◎ |
| 視点 | | 2 | 利用者のことを第一に考える(利用者主体・自己決定の支援) ① 利用者の望むゴールをともに考えられていますか ② 利用者が他者に強要されることなく自分自身の判断ができるような自律支援を行っていますか ③ 自己決定のための十分な情報提供を行っていますか ④ 勝手に決定を判断し決めつけることはしていませんか | ○ | | | ◎ |
| 視点 | | 3 | 利用者の言葉をよく聞く(傾聴・受容・共感) ① 偏見や思い込みなく利用者の話を聞いていますか ② どんな場面にも自分の中の感情を保って話を聞いていますか ③ 利用者の言語、非言語の表現を読み取って面接していますか ④ コミュニケーション技術や言語力を常に磨いていますか | ○ | | | ◎ |
| 視点 | | 4 | 他意しない(秘密保持) ① 利用者やその家族が持つ情報について秘密を守っていますか ② 思わぬところでうっかり他意してはいないでしょうか ③ 個人の情報については必ず了解を得てから話していますか ④ 秘密保持の例外となる場合を知っていますか | ○ | | | ◎ |
| 視点 | | 5 | 表せない気持ちを代弁する(代弁機能・権利擁護) ① 結論を急がせず、じっくり時間をかけて話を聞いていますか ② 判断能力が不十分な状態にある本人の気持ちを読み取っていますか ③ 社会的な孤立や遠い詰められた状況にある本人や家族への理解をしていますか | ○ | | | ◎ |

③

④

⑤

Q&A

Q1 地域の勉強会等で活用してもいいですか？

A：あくまでも主催者・受講者の自己責任において使用して頂くこととなりますが、このシートの目的や使用方法、使用上の注意を御理解の上で活用してください。なお、本シートを検証する際にアンケートをお願いすることがあります。

Q2 スキルアップ評価シートはCMATの研修のみで活用するものですか？

A：個人が受講する全ての研修において活用いただくことを想定しています。当会が開催する研修においては、どの力にフォーカスした研修かを開催通知（研修のチラシ）に記載しておりますので、受講の際は参考にしてください。

Q3 目的に資する研修とは何を指しますか？

A：当会で実施する自主研修以外の研修を想定しています。
6つの力を高めるための研修は、介護支援専門員が活動する地域で行われる研修や、他団体（医師会や看護協会、作業療法士会、社会福祉士会など）で開催する研修、大学や学会などで開催する研修を想定しています。

Q4 プロフェッション力の2-②の「～ができるような自律支援を行っていますか」にある「じりつ」の漢字は「自立」でしょうか？

A：介護保険制度の三つの基本理念である①利用者本位②利用者の選択の尊重③自立支援の三つ目の「自立支援」については各種のテキストや研修会の説明等においても以下のように説明されていると認識しています。

『自立』には、ADL、IADLの自立、収入・所得に係わる経済的自立、自分のことを自分で決める自己決定・自己選択にかかわる精神的・人格的自立などがありますが、人間にとって『自由に主体的な決定ができること』がいかに大切かを思えば、それらの中でも精神的・人格的自立が特に重要となります。これらのことから、プロフェッション力の2-②と、7-②③の説明を差別化するねらいもあり『自律』を使っております。

Q5 評価してもレーダーチャートが出ません

A：エクセルの設定が下記の手順で「自動」になっているか確認してください。
画面上部のタブ「数式」→「計算方法の設定」→「自動」を選択

ケアマネジメントスキルアップ評価シート 「活用マニュアル」

2019年6月 初版

2022年3月 改訂版 第2版

編集：研修向上委員会

発行：東京都介護支援専門員研究協議会

〒102-0072

東京都千代田区飯田橋2-9-3

電話 03-3556-1541

※転載・転用・いかなる変更（罫線の追加・削除、項目数の増減、項目の表現の変更等）を固く禁じます。